

平成27年度主要施策 ～市民協働でこんなことに取り組みます～

ひと・企業・まちの力が発揮できる未来志向の取組みを加速化

独自の伝統文化を活かし、現代を彩る

長い年月に培われてきた知恵や行事、伝統、人々の絆・長浜らしい個性ある文化・景観を継承するとともに、世界発信し、国際ブランドとしてまちづくりに活かします。

まちの力

長浜曳山まつりの発信

長浜曳山まつりのユネスコ無形文化遺産登録を市民とともに目指しています。秀吉公の時代より人から人へと代々受け継がれてきた曳山、子ども歌舞伎、まつりといった曳山文化を町衆の心意気とともに、地域の宝・長浜の誇りとして、世界に向けて発信し、歴史文化を活かしたまちづくりを推進します。

予算額 37,539千円
(うちH26補正 20,000千円)



長浜曳山まつり 子ども歌舞伎



安念寺と「いも観音」さま

観音文化の振興

地域の暮らしに根付き、今なお大切に守り継がれている長浜の観音さま。観音の里の四季折々の姿とともに国内外への魅力を発信します。また、防災対策を講じながら、持続可能な観音文化の振興を図ります。

予算額 8,200千円



東アジア交流ハウス 雨森芳洲庵

芳洲先生の業績PR

現在「朝鮮通信使」をユネスコ記憶遺産に登録する取組みが進められており、本市が世界に誇る「善隣友好」のシンボルである「雨森芳洲」先生の業績を全国に向けて発信します。

予算額 6,988千円



菅浦集落

菅浦地区文化的景観の保存活用

国の重要文化的景観に選定された西浅井町菅浦の景観を次世代へ継承できるよう四足門を修理し、景観を保護します。また、案内看板の設置や啓発パンフを作成する等市民団体「菅浦『惣村』の会」とともにその魅力を全国に発信します。

予算額 12,281千円



長浜駅前

中心市街地活性化と北部振興は車の両輪！ 一体感あるまちづくりを推進

まちの力

中心市街地の活性化

長浜駅を核とした駅周辺が、商業やサービスの拠点、交通結節点として都市機能が強化され、市の玄関口にふさわしい魅力的な駅前空間となるよう、市街地再開発事業を核としたエリアマネジメントを推進します。

予算額 1,626,334千円

北部の元氣創造

北国街道木之本宿については、移住定住を促進するため、空き家・空き店舗の利活用や景観整備計画を策定するなど、活性化に向けた取り組みを行います。また、まちなかや「きのもと交遊館」での企画展の開催、ガイド、人材育成、おもてなしバスの運行など、黒田官兵衛博覧会終了後も継続して北部地域に観光誘客を図ります。



旧余呉小学校を活かした芸術祭



奥琵琶湖パークウェイの桜

さらに、若者によるまちづくり活動の支援や旧余呉小学校を活用した文化芸術情報の発信、奥びわ湖の景観を活かし、「恋人の聖地」と位置つけたまちづくり事業など、魅力的な地域資源を活かしたモデル事業を実施します。

予算額 54,735千円
(うちH26補正 3,000千円)

子育てしやすいまち長浜の推進

ひとの力

(下) 子育て情報サイト「ママフレ」



(上) 子育て支援センター



外で元気に遊ぶ子どもたち

「楽しめる」

結婚につながる出会いづくり、市民が取組むまちづくり等を支援します。

「働ける」

放課後児童クラブの提供、高卒認定試験合格のための支援等を行います。

「産める」

子どもの短期・一時預かりにより、保護者の「困った」やリフレッシュを支援。また、不妊治療費の助成、妊娠から出産後までの相談体制の整備等を行います。

「教える」

バイオ大学と連携した理系人材の育成、滋賀国体を意識したジュニアアスリートの育成、就学前教育の充実等を図ります。

「暮らす」

子育て世帯等の定住支援等に着手します。

予算額240,607千円
(うちH26補正 33,650千円)